

予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業 ヘルスケア社会実装基盤整備プログラム

公開用



課題名：行動変容促進アプリ（MIRAMED®）による予防・健康づくりに関する研究開発

代表機関／代表者：(株)メドミライ／岸 暁子

分担機関：神奈川県立保健福祉大学、東京大学、(株)日立システムズ

研究期間：令和6年8月～令和9年3月

研究開発目的

- (1)リアルワールドデータを活用した特定保健指導の効率向上及び終了後のリバウンド対策
- (2)特定保健指導実施率の向上のためのモデル構築
- (3)行動変容要因の解析及び指導への応用
- (4)自治体・対象者双方にとって有益な行動変容促進アプリ（MIRAMED®）の機能拡張（ロコモリスク予測）

これらの成果を統合して、サステナブルな予防・健康づくりの仕組みを構築し、生活習慣病関係の予防、健康で明るいまちづくりを行うことを目指す。

取り組み

- (1)MIRAMED®を活用した遠隔特定保健指導のアプリ継続利用の効果把握
- (2)特定保健指導の実施率の向上に繋がる健診センターモデル確立
- (3)MIRAMED®を活用した特定保健指導の効果と行動変容の要因の解析
- (4)ROADコホートに研究で得られたデータを用いたロコモリスク予測
- (5)介入効果を神奈川県の未病指標で評価するシステムの構築

今後の展開

- (1)KDBを活用した特定保健指導の評価システムの確立。ICTを活用した特定保健指導のDX化によるKDBの有効活用と保健指導の効率向上
- (2)エビデンスに基づいたアプリの行動変容要因解析システム確立と特定保健指導の評価系の確立
- (3)健診センターでの動線改革による受診率向上の仕組み確立
- (4)健康の自分ごと化に向けたメタボリスク＋ロコモリスクの提示

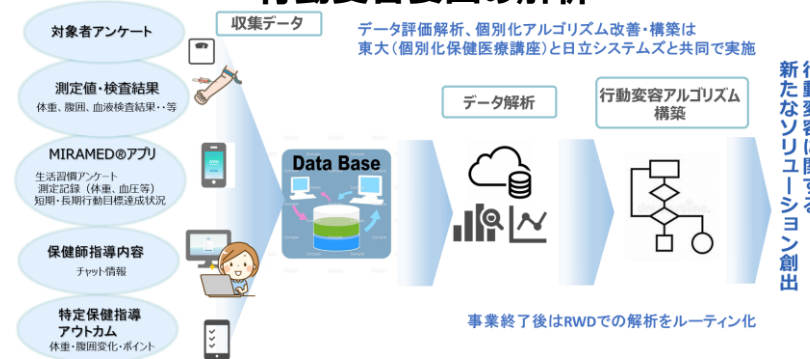
行動変容促進アプリ

目標設定 ➡ 振り返り ➡ 達成



MIRAMED®のデータを活用した保健師による指導

特定保健指導の効果と 行動変容要因の解析



新たなソリューション創出